



避難情報について

避難情報と住民がとるべき行動

避難情報に関するガイドラインが改定されました。(令和3年5月20日)

警戒レベル4 避難指示で必ず避難 いままでの避難勧告は廃止です

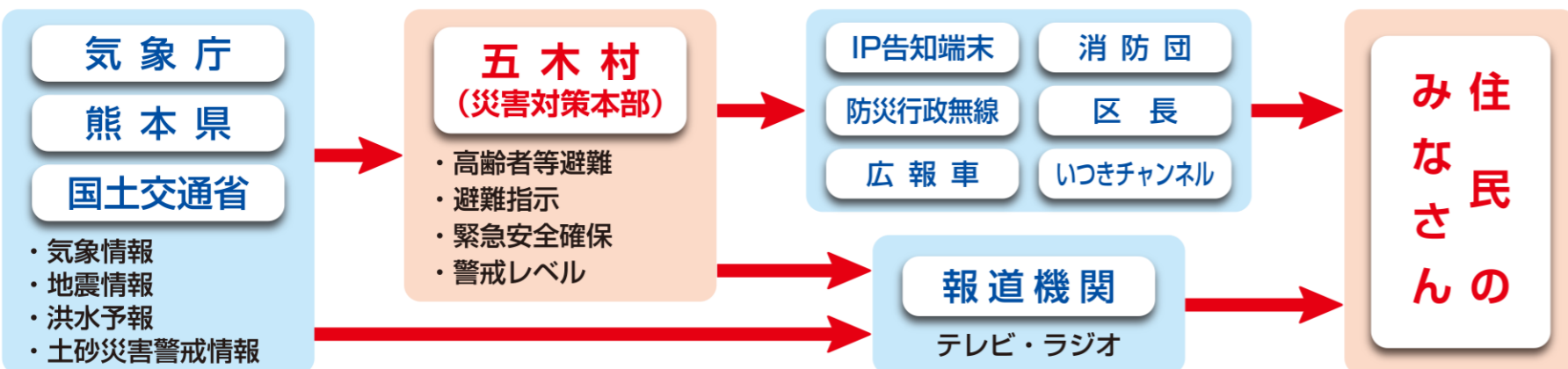
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
高	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保*1
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~			
危険度	4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示*1
	3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難*1
	2 気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報*2
低	1 今後、気象悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報*2

・警戒レベル5は、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるとは限りません。  
 ・警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。  
 ・内閣府 / 令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループによる最終とりまとめ(令和2年12月24日公表)を基に記載しているため、表現等は変更になる場合があります。  
 *1 五木村が発令 *2 気象庁が発表

**自主避難について** **危険を感じたらすぐに避難しましょう**  
 局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、村からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 緊急情報の伝達方法

五木村では、災害が発生もしくは発生のおそれがある場合に、災害対策本部を設置し、関係機関と連携して災害対策を実施します。



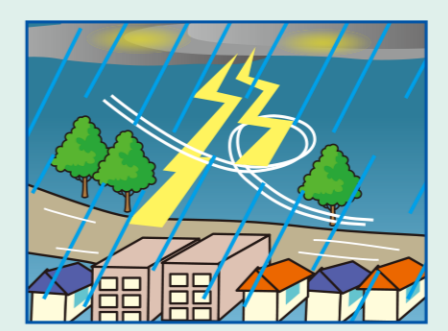
# 風水害への備え

## 集中豪雨や局地的大雨から身を守るには

- 家財道具の移動、家周りの点検**  
台風が近づいている時は家の周りの物を玄関に入れるなどして片付け、物干し竿などは先に倒しておこう。
- 近くの川の水位上昇に注意する**  
近くの川の水位が上昇していたら、浸水の恐れがあるので、川岸の家は特に警戒が必要。
- 防災放送を聞き逃さない**  
避難誘導などの防災行政無線や呼びかけには注意し、村役場・消防署・警察署などの指示に従って行動しよう。
- 災害時要援護者の安全を確保**  
高齢者や傷病者は背中に背負い、子供には浮き輪やベビーバスなどを利用して避難しよう。
- 避難経路の安全を確認**  
避難するときに腰まで水に浸かるようなら、無理をせず高い場所に避難してから救援を呼ぼう。
- 履き物に注意**  
素足は厳禁。脱げやすい靴も×。長靴は水が入ると歩きにくくなるので、ひもで結べる運動靴が最適。
- 足下に注意**  
歩きなれた道でも、洪水時は危険。長い棒などで安全を確認しながら避難しよう。
- 安全に避難する**  
単独行動を避け、はぐれないようお互いの体をロープなどでつなぐなどしてから避難しよう。
- 逃げ遅れたときは**  
万が一、逃げ遅れた時は近くの丈夫な建物の2階以上に避難しよう。

## 次のような前兆現象を感じたら速やかに避難するようにしましょう。

- 空が真っ暗になり、雷鳴や稲妻が走る。
- 冷たい風が吹き出したら注意。
- 大粒の雨やひょうが降り始める。
- 川の水かさが増えたり、濁る。



**活用しよう!** **気象庁のホームページ**  
 気象庁HPの、「降水ナウキャスト」情報は最新状況から1時間先までの5分毎の降水の強さを予報します。  
 「レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)」  
<http://www.jma.go.jp/jp/radnow/>

## 大雨や風に関する情報

雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
強度	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
被害	地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川のはん濫や、がけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川ははん濫し、水害発生の可能性が高まります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

予報用語	《やや強い風》	《強い風》	《非常に強い風》	《猛烈な風》
平均風速(m/s)	10~15	15~20	20~25	25~30
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	立ってられない。屋外での行動は危険。
建造物の被害	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。	ビニールハウスが壊れ始める。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材ががれ、飛び始める。屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。